

**安心して働ける環境を
病児・病後児保育施設オープン**

病気やケガをしたお子さんの保育を行うため、旧尾花沢幼稚園の一部を改修し、病児・病後児保育施設「なないろ」を開設。7月27日、一般公募より選ばれた愛称の発表も兼ねた開設セレモニーが行われ、おもだか保育園の園児6人が来賓の方々と一緒にくす玉を割ってお祝いしました。

この施設の利用方法は、市報お知らせ版8月1日号に記載していますのでご覧ください。



**いい運動になりました
福原地区グラウンドゴルフ大会**

7月10日、福原地区「グラウンドゴルフ大会」が徳良湖花笠グラウンドゴルフ場で行われました。健康づくりや体力づくりとともに、地区民同士の交流を目的に行われており、53人が参加。参加者は、9班に分かれて16ホールを回り、和気あいあいとした雰囲気の中で体を動かしました。ナイスショットには拍手が送られ、梅雨の晴れ間に存分にプレーを楽しみました。



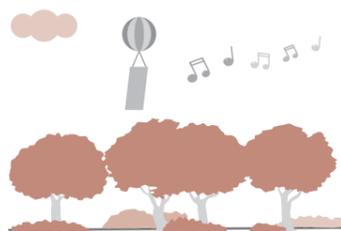
おばなざわ日記 *Obanazawa Diary*

あなたのまわりの、身近な話題や出来事などをどしどしお寄せください！

☎ 総合政策課 ☎ 22-1111

**新型コロナウイルス感染症対策へ
次亜塩素酸空間除菌脱臭機をいただきました**

(有)長谷川工業（代表取締役 長谷川幸一氏）から市に次亜塩素酸空間除菌脱臭機1台を寄贈していただきました。空間除菌脱臭機は、現在子育て支援センターABESAに設置し、新型コロナウイルス対策等に活用しております。あたたかい善意ありがとうございました。



**福祉施設の皆さんを応援
福原中学校から励ましのメッセージ贈呈**

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、福原中学校生徒会では、ハイマート福原とよつば荘の職員へ、励ましのメッセージを贈ることを企画しました。

7月3日、ハイマートを訪れた生徒会役員の戸津煌さん、斎藤咲良さん、大類七海さんは、生徒たちが心を込めて作成したメッセージを職員に贈呈。受け取った福祉施設の方々は生徒たちの思いに感激した様子でした。



**自作の茶碗でお抹茶飲むぞ
玉野小学校ぐるぐるで抹茶碗づくり**

7月3日、玉野小6年生13人が抹茶碗づくりに挑戦しました。完成した抹茶碗でお茶会をすることを目標に、原料の石を集めることからスタート。この日は伊藤瓢堂先生の指導のもと、丸い粘土の塊をろくろにのせて抹茶碗の形に成形しました。児童は粘土の内側にコテという道具を当てて膨らませていく作業に手こずりながらも自分なりの大小様々な抹茶碗を完成させました。



**自分の生き方・あり方を考える一日
「福原中いのちの日」読み語り会**

福原中学校で月1回行われている「いのちの日」の学習。7月16日は地域で活動する方々をお招きし、読み語り会を開きました。3年生は絵本「だっこの木」と山形新聞連載の「戦後75年言葉を刻む」を題材に、戦争の悲惨さや、自分や家族が今平和に生きているという命の尊さを学びました。午後からは車いす体験と高齢者疑似体験も行い、様々な視点から命を考える一日となりました。



**もしもの時に備えよう！
玉野保育園で避難訓練実施**

7月20日玉野保育園で火事を想定した避難訓練が行われました。火災報知機が鳴ると身を固くする子どもたち。その後先生の指示で速やかに保育園隣の避難所へ移動しました。今回は防災士の加藤広美さんに指導を受け、「火事は地震と違って机の下にもぐらず、すぐ逃げるように」と教えてもらいました。訓練後は、先生たちで振り返りを行い、今後の避難対応を見直しました。

